

2004年度奨励賞の受賞者決まる

受賞者：中村直治（東京管区気象台）

研究題目：静岡県・山梨県の局地気象現象の研究

選定理由：中村直治会員は1987年に福井地方気象台に採用された後、関東・東海地方の気象官署で勤務してきた。この間、それぞれの職場で担当業務を行う傍ら、地域の局地現象を対象にした統計的調査と事例研究を進めてきた。静岡県西部における夏の著しい高温については、高温の発生に西～北西の山越え気流が関わっていること、海風の侵入が高温を抑制することを指摘して高温発生の概念モデルを示した。また甲府における暖候期の南西風や冬の北西風の開始時刻を調べ、北西季節風の急激な吹き出しには対流圏下層の安定層を伴う山越え気流と夜間冷却による接地安定層の解消が関わっていることを指摘した。さらに、移動性高気圧の南側で発生する石廊崎の強風の研究に関わり、強風は高気圧の通過時刻に関わらず正午前に発現しやすいこと、その発生時には関東南部からの北寄りの風と房総半島沖からの東寄りの風が合流しており、合流の指標として混合比が利用できることを示した。この他、最大瞬間風速の予測を目的にした各地点の突風率の研究や、簡便な非静力学モデルを利用した局地的強風に対する地形効果の研究を行っている。

これらの研究は現場の新鮮な視点に立って各地域の現象の特性やメカニズムを明らかにしようとするものであり、地方の気象官署における調査研究の指針になるとともに、局地気象現象の研究に貢献するものである。

以上の理由から、日本気象学会は、中村直治会員に今年度の奨励賞を贈るものである。

参 考 文 献

- 松浦和幸、中村直治、1996：移動性高気圧の通過に伴う石廊崎の東風について、研究時報、47、別冊、100-101。
- 林 博之、中村直治、1996：静岡県西部における夏季晴天日の最高気温について、東京管区気象研究会誌、(29)、300-301。
- 中村直治、1997：浜松測候所の突風率について、研究時報、48、別冊、104-105。
- 中村直治、1997：静岡県西部における夏季晴天日の最高気温について(その2)―佐久間・天竜高温時の特徴―、東京管区気象研究会誌、(30)、324-325。
- 中村直治、1998：静岡県西部における夏季晴天日の最高気温について(その3)―天竜高温時の事例解析―、研究時報、49、別冊、120-121。
- 中村直治、望月 司、1998：甲府における日中の南西風について、東京管区気象研究会誌、(31)、50-51。
- 望月 司、中村直治、1999：甲府における日中の南西風について(その2)―風ガイダンスの検証―、東京管区調査研究会誌、(32)、96-97。
- 中村直治、1999：冬季季節風の事例解析―暴風警報発表事例―、東京管区調査研究会誌、(32)、156-157。
- 望月 司、中村直治、2001：甲府における冬季季節風時の突風率について、東京管区調査研究会誌、(33)、178-179。
- 中村直治、2001：甲府盆地における冬季季節風時の夜間吹き出しについて、研究時報、52、別冊、100-101。
- 中村直治、森岩 聡、2002：渥美半島における強風の数値シミュレーション―赤羽根の局地風―、東京管区調査研究会誌、(34)、CD-ROM。

受賞者：箕輪敏行

研究題目：「神奈川の気象連絡会」を通じた気象知識の普及

選定理由：箕輪敏行氏は川崎市立川崎小学校校長を定年退職後、1979年に「神奈川の気象連絡会」を発起人代表として設立し、2003年に会長を辞するまで財政面でも援助を続けながら会を維持してきた。この間、連絡会の活動として月例観測、鯉のぼり風向き調査、積雪調査、サクラ前線調査などを行った。このうちサクラ前線の調査は神奈川県立総合教育センターを事務局として現在でも続けられている。これらの研究成果は、神奈川の気象連絡会（2002）にまとめられている。

また、箕輪氏は、社会教育としての気象知識の普及に取り組み、毎年夏休みに実施される連絡会の総会に最前線で研究している講演者を招聘して「市民気象講演会」を無料で開催してきた。川崎市教育委員会等と連携して行った「気象普及講演会」では、自ら一般の人たちに分かりやすく気象の話題を解説したり、連絡会会員を派遣したりしてきた。さらに、1998年からは川崎市内の児童生徒によって行われた気象関係の優れた研究に対し、連絡会の場で発表機会の提供と表彰を行い、学校教育における気象の学

習を支援・奨励した。

箕輪氏の気象教育の実践と普及活動は、小学校勤務期間中も合わせると60年以上に及んでおり、長年の教育普及活動により影響を受けた児童や市民の数は数えきれない。

以上の理由から、日本気象学会は、これらの精力

的な教育普及活動を高く評価し、箕輪敏行氏に今年度の奨励賞を贈るものである。

参 考 文 献

神奈川の気象連絡会，2002：気象観測25年のあゆみ，神奈川の気象連絡会，145pp.